

2026年5月26日
パーソルイノベーション株式会社
株式会社パーソル総合研究所

パーソルイノベーション、パーソル総合研究所、早稲田大学 長内厚研究室の共同研究 PRJ 研究成果を組織学会にて発表

～事業変革期におけるリスキングの有効性を明らかに～

「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げるパーソルグループのパーソルイノベーション株式会社（東京都港区、代表取締役社長：大浦 征也）と株式会社パーソル総合研究所（東京都江東区、代表取締役社長：岩田 亮）は、早稲田大学商学大学院経営管理研究科 長内 厚教授とともに、2026年6月20(土)・21日(日) に開催される「2026年度 組織学会 研究発表大会」において、二流路型リスキングに関する研究成果を発表します。なお、本研究の詳細については、学会発表時に公表予定です。

■背景

本研究の背景として、パーソルイノベーション株式会社では「誰かが解くべき“はたらく”の課題解決」を掲げ、人材サービスを軸に、社会人の学び直しやスキル転換といった課題にも向き合ってきました。近年、多くの企業が大きな事業変革に直面する一方で、リスキングがどのように組織や事業の変化への適応につながるのかについては、十分に明らかになっていません。こうした課題意識のもと、2025年6月より、Reskilling Camp代表 柿内 秀賢、パーソルイノベーション 広報室長 清水 さやかの名が早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センターの招聘研究員として研究に参画し、実務と研究の両面から、リスキングを通じた組織能力の向上について検討を進めてきました。柿内は、2026年4月よりパーソル総合研究所の所属となり、継続して研究を続けてきた形となります。研究発表では、これまでの共同研究の成果の一部として、企業が大きな事業変革に直面した際のリスキングによる変化への適応について発表します。

■「2026年度 組織学会 研究発表大会」開催概要

日時：2026年6月20(土)～21(日)
開催校：関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）

長内教授よりコメント



不確実な時代にこそ企業の変革の力が試されますが、どのような組織や人材が求められるかが分かっていても、どのように変革に必要な人材を育てるかは明らかになっていませんでした。今回、人材紹介やリスキングを事業にしているパーソルさんとの共同研究で明らかにしようとしていることはそうした変革に必要な様々なタイプの人材をリスキングによってどの様に育てていくかといった学術上も実務上も重要な問いです。



パーソル イノベーション



パーソル 総合研究所



早稲田大学 長内厚研究室

報道・メディア関連の問い合わせ先

パーソルイノベーション株式会社 広報室 TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

■ パーソルイノベーション株式会社について < <https://persol-innovation.co.jp/> >

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的に、2019年4月に事業を開始しました。世の中で見過ごされてきた“誰かが解くべき”はたらく領域の課題に向き合っています。まずは、フロントラインワーカー向けの転職/採用支援に取り組むべく若年層・未経験者向け転職支援サービス『ピタテン』やドライバーに特化した転職エージェントに注力します。また、約10万件の求人情報を人材紹介会社に開放する求人データベース事業『HITO-Link エージェント』など業界のパラダイムシフトとなるようなサービスも展開していきます。今後も新たな価値創出を通じて、はたらくの常識をアップデートし続けてまいります。

■ 株式会社パーソル総合研究所について < <https://rc.persol-group.co.jp/> >

パーソル総合研究所は、パーソルグループのシンクタンク・コンサルティングファームとして、調査・研究、組織人事コンサルティング、人材開発・教育支援などを行っています。経営・人事の課題解決に資するよう、データに基づいた実証的な提言・ソリューションを提供し、人と組織の成長をサポートしています。